

# 中部日本ニュース

シネスコ版

No. 519

33.12.27

## 一、リュウフォーレル快勝

——有馬記念

競馬ファン期待の第八回有馬記念レースは去る二十二日、中山競馬場に五万のファンを集めて行なわれました。

尾形厩舎の看板馬、メイズイ、グレイトヨルカカ、初の関西馬優勝をもたらすリュウフォーレルか。

枠順に恵まれたメイズイはスタートと共に先行、二番手トウコン、リュウフォーレルと続きます。レースは終始メイズイが先行、逃げ馬の本領を発揮出来るか。

しかし、照準をメイズイに定めて、終始三、四番手についてきたリュウフォーレルは、ゴール前二百メートルでメイズイを捕らえ、鋭い差し脚で見事メイズイに一馬身半あけてゴール・イン。初の優勝を飾ったのです。

アイモ風土記

## 一、銀座

華の都は東京銀座、全国で三百は下らないという銀座商店街の総本山です。今日もスモッグの中を明けてゆきます。

いまや「土一升、金一升」を誇りひよる長いビルが所狭しとたて込んでいます。そして昼間の人口百万、夜はわずか六千になってしまうこの町、日本一の地代はダイヤモンドなみ、その地代は寝る場所まで店やオフィスにしてしまったのです。

文明開化以来、ハイカラな西洋文化のショーウィンドーとして流行の先端の町として栄えてきました。

かつて詩人や文士を育ててきたこの町も古き良き時代の郷愁はさらりと捨て、時代は、銀座をネオンとショーウィンドーで色どり、買物をする場所から、ムードを楽しむ所にかえつつあるようです。

一千万円のライター、二千万円の宝石、町はいまも変わらずきらびやかで豪華なムードをかもし出しています。

銀座という不思議な魅力は地代を高騰させ、普通の商売は出来ないという所にしてしまいました、それは高い保証金になり、高い家賃となって押寄せ、ますます商売をしにくくしてしるのです。いま先走りすぎた銀座の地代は今後の町の発展に大きな障碍となつて前に立ちふさがっているのです。

銀座は今や大企業のショーウィンドー化の道をたどりつつあるのではないのでしょうか。